

しもつけ古墳群って？

しもつけ古墳群は、古墳時代後期(6～7世紀)に造られた栃木県南部(下野市、栃木市、小山市、上三川町、壬生町)に所在する大型古墳(首長墓)群です。主に「下野型古墳」と呼ばれる古墳で構成され、次のような特徴を持ちます。

- ・古墳の墳丘に幅広い平坦面(基壇)を持つ
- ・凝灰岩の切石を組み合わせた横穴式石室を持つ
- ・前方後円墳は前方部のみに埋葬施設を持つ



下野市の古墳

吾妻古墳から始まる「下野型古墳群」のうち、しもつけ風土記の丘資料館周辺にある首長墓は、甲塚古墳(80m)→愛宕塚古墳(78m)→山王塚古墳(90m)→丸塚古墳(74m)の変遷をたどることができます。

壬生町の古墳

県内最大規模を誇る前方後円墳吾妻古墳や円墳車塚古墳をはじめ5基の国指定古墳が存在しています。また町の北部^{はにゅうだ}羽生田地区の富士山古墳からは、全国で2番目に大きい家形埴輪が出土しています。



上三川町の古墳

「下野型古墳群」のうち、墳丘がなくなり石室が見えるようになった古墳がふたつあります。ひとつは愛宕塚古墳、もうひとつはかぶと塚古墳です。

下野市 × 壬生町 × 上三川町 連携事業

しもつけ古墳群 スタンプラリー

しもつけ
風土記の丘
資料館

壬生町立
歴史民俗
資料館

上三川町
ORIGAMI
プラザ

参加方法

2026/2/3-3/29

- ① 3館いずれかでスタンプ台紙を GET!
もしくは QR から台紙を印刷!
- ② 受付でクイズに答えてスタンプをもらおう!
- ③ 3館すべてでスタンプを集めて景品ゲット!

景品渡し済
印

スタンプラリーの詳細や
各館へのお問い合わせ
はこちらの QR から! ➡



壬生町立歴史民俗資料館からのクイズ！

壬生町



み ぶ しりょうかん げんざい み ぶ あ
壬生の資料館では現在、壬生愛
たごづかこふん しゅつど たてもちびとはに
宕塚古墳から出土した盾持人埴
わ たいてんじ じ
輪が4体展示されていますが、耳
かん
環（イヤリング）を付けている盾持
人埴輪は何体あるのでしょうか？

こたえ.

しもつけ風土記の丘資料館からのクイズ！

しもつけこくぶんじあと なんせいぶ いち
下野国分寺跡の南西部に位置する
かぶとづかこふん しゅつど うまがたはにわ
甲塚古墳から出土した馬形埴輪は
つく とうじ なにいろ うま
作られた当時、何色の馬だったで
しょうか？
しりょうかん ひと こた あ
資料館の人と答え合わせをしてね！

こたえ.

下野市



上三川町 ORIGAMI フラザからのクイズ！

かみのかわまち いしぶたい よ せき
上三川町にある“しもつけの石舞台”と呼ばれる石
しつ だ つかこふん はい
室がむき出しの〇〇〇塚古墳の〇〇〇に入ること
ばは、次の3つのうちどれでしょうか？
① よろい ② かぶと ③ かたな



こたえ.

上三川町

★それぞれの施設の受付
の人と答え合わせしてね

